

巻頭インタビュー
「指揮官に聞く」

大橋 誠

ヘッドコーチ



リアクションではなく、
アクション。

2年ぶりのパールボウルトーナメントは準決勝で富士通に敗退。その後の交流戦でも立命館大学に敗れ、春シーズンは2勝2敗で終了しました。反省や課題が多い試合が続きましたが、一方で新人や若手の活躍など収穫もありました。春シーズンの成果、そして日本一にむけてチームとしてどう取り組んでいくのか、大橋ヘッドコーチに聞きました。

——春シーズンを振り返っての成果は?

「まずフィジカルレベルの向上ですね。ファンダメンタルの徹底を掲げて活動してきたことで1対1の勝負でそれぞれ力を発揮できるようになってきました。プレーとしてはオプションプレーにトライし、それが形になってきているのが収穫です。昨年エースのQB 龍村、オプションプレーを牽引する藤澤、成長著しい村上に加え、アサヒビール戦でポテンシャルの高さを示したルーキー木下が参戦したQBのポジション争いが楽しみです。また、オフェンスからディフェンスラインにコンバートした加藤(良)や同ユニット内で若干のポジション変更した福原・塚田などが新天地で活躍の兆しをみせました」

——これから秋にむけてどのようなところを強化していきますか?

「やる人間も、応援していただく方も2008スローガンである“SPIRIT”をしっかりと感じられるようなチームに上げていきます。一つ一つの取り組みプレーに対しての詰めを徹底し、何事においても必死であるようにしますもちろん、フィジカルレベルの向上・ファンダメンタルの徹底がベースになります。特にここからは、実際の対戦相手をイメージし、その試合での戦い方、戦うメンバーを意識して練習を重ねていきます。そういう意味では、チーム全体のベースを上げるといっても、ゲームで披露する戦力を引き上げ研ぎすますことに注力します」

——秋はどのようなフットボールを目指しますか?

キープレーヤー、期待する選手などもあれば教えてください。

「相手に合わせてリアクションするのではなく、自らアクションすることを眼目に先手を取って仕掛けるようにしていきます。具体的なことは既に構想しているものもありますが秘密です。キーとなる選手はQB陣の仕上がりと木村・宮本・松本らOLの奮起。ディフェンスではLB橋本やDB三宅らの新戦力が起爆剤となってくれることを期待しています」

オービック 8-38 立命館大学パンサーズ 春季最終戦も勝利を収められず

春季シーズン最終試合となる立命館大学パンサーズとの交流戦が6月8日(日)、立命館大学びわこ・くさつキャンパス内のクインズスタジアムで行われました。パールボウル準決勝での惜敗から1週間。なんとしても快勝して春季シーズンを終えたいところでしたが、試合は終始立命館ペースで進み、8-38で敗れるという残念な結果に終わりました。



4選手が海外挑戦

今春、オービックシーガルズから4人の選手が海外のアメリカンフットボールに挑戦しました。

萩山竜馬選手と三宅剛司選手はNFLの練習生“IPS/インターナショナルプラクティススクワッド”を目指す“IPDプログラム”に挑戦。スペインとイギリスで行われたIPDキャンプに参加しました。両選手とも最終選考となる4次キャンプまで残りましたが、惜しくもIPS選出にはなりませんでした。

里見恒平選手と中西類選手は8人制の室内アメフトであるアリーナフットボールのプロリーグ・AF2のチームと契約。里見選手はセントラルバレー・コヨーテズ、中西選手はオクラホマシティ・ヤードドッグスに所属し、両選手とも試合に出場して現在活躍しています。なお、両選手とも8月に帰国予定です。



#85 WR 萩山竜馬



#16 DB 三宅剛司



#13 DB 里見恒平



#31 DB 中西 類

「強く、愛される、開かれたチーム」 ミーティング開始

チーム設立 25 周年を迎える今年、あらためて、多くのお客様に試合を観に来ていただけるチームになろうと、4月から隔週で「強く、愛される、開かれたチーム」ミーティングを開いています。ミーティングには事務局員、選手有志、チアリーダー、ジュニアシーガルズコーチ、並河監督、大橋ヘッドコーチ、吉永ヘッドトレーナーが参加。毎回 2 時間近くにわたって、チームのこれからについてアイデアを出し合い、率直な意見交換を行います。「東京ドーム 1 万人プロジェクト」もこのミーティングからスタートしました。



個性豊かな参加者たち。
本音トークで時には熱くなりすぎることも

開幕戦は 9 月 10 日 (水) 対 IBM BigBlue に決定!

秋の初戦は X リーグ東日本の開幕戦となる 9 月 10 日 (水) に決定。東京ドームで IBM BigBlue と対戦します。「東京ドーム 1 万人プロジェクト」もこの試合にむけて本格始動。観客動員 1 万人を目指すべく IBM BigBlue と協力でプロジェクトを進めています。



試合はもちろん、エンターテインメントとしても楽しんでいただけるようなプロジェクトを進行中です

フラッグフットボール体験会で 小学校を訪問

柏市酒井根東小学校と熱海市立桃山小学校をコーチ、選手たちが訪問し、一緒にフラッグフットボールを楽しみました。



フラッグフットボールの指導には慣れたものの生徒たちからの鋭い質問にはたじたじです

市川市、浦安市で フラッグフットボール体験会を開催

NPO 法人フラッグフットボール・マネジメント・ジャパン様の協力により、市川市、浦安市で小学生を対象としたフラッグフットボールクラブを立ち上げ、各校で体験会を行いました。

- ISG フラッグフットボールクラブ@市川市立市川小学校、市川市立宮久保小学校 (2008 年 6 月設立)
- タカスポクラブ@浦安市立高洲北小学校 (2007 年 11 月設立)
- ヒノスポクラブ@浦安市立日の出南小学校 (2008 年 8 月設立予定)



初めてのフラッグフットボールを楽しみました。
子供たちの吸収力はすごいです

普及活動の一環として 各地でクリニックを開催

各地で行われたアメフトクリニックに講師として参加しました (大阪府立大学、和歌山大学、韓国クリニック、北海道大学、日本プライベートフットボール協会クリニック)。

またオービックスシーガルズの選手有志たちでもアメフトクリニックを行いました (DB 指導者向けクリニック、立教高校)。



アメフトの普及活動としてだけでなく、自ら教えることで学ぶことも多いです

チアリーダーが第 1 回スポーツフェスタ 習志野に参加

習志野市スポーツ振興協会主催の「第一回スポーツフェスタ習志野」にオービックスシーガルズのチアリーダーが参加し、得意のダンスを披露しました。



会場のみなさんも一緒に踊りました。
たくさんの声援もあり、大成功となりました!

メインスポンサー

システムインテグレータの **オービックス**

オフィシャルスポンサー



オービックスシーガルズマンスリーレポート 7月号

発行人/並河 研
編集/渡部 滋之
制作・デザイン/高木 慶太
文・写真/藤田 義生
発行/樹 OFC
〒104-0061 東京都中央区銀座 1-19-16 銀座昭和ビル 3F
Tel.03-3567-1313
Fax.03-3567-1312
<http://www.seagulls.jp>